2027年度　独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター（病床数 350床）【1年次】

受入人数	【1年次】1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤	471,000円		有		有	有	32時間／週	10日		3日（リフレッシュ休暇）	12/29-翌1/3	3～4回	有	第二共済組合（短期組合員）、厚生年金、雇用保険、労災保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	指導医数:10人【当科の特徴】 ① ジェネラリスト・スペシャリストが一体となった内科診療 総合医・各専門医は内科医としての共通基盤を重視し、常に診療、カンファレンス、勉強会等を合同して行っています。 ② 病歴・身体所見・診断プロセスを重視 カンファレンスや日々のディスカッションを通して経験を共有し、病歴・身体所見を重視した臨床推論を学べます。また、診断プロセスの振り返りも定期的に行い、その共有・向上にも力を入れています。 ③ 多彩な症例経験 当院では内科系入院患者の大半を内科が担当します。そのため、偏りなく非常にバラエティに富んだ症例を経験することができます。 【診療内容】 病棟診療が中心で、おおよそ5～10症例の患者を受け持ってもらいます。診療はチーム制で、指導医と研修医がセットで動き、屋根瓦式の教育を行っております。 救急:内科二次救急が主で、平日1～2コマの救急当番と月4回程度の当直があります。 検 査:上部消化管内視鏡検査や各種超音波検査など希望にあわせて学習可。 カンファレンス:論文抄読会、症例検討会、臨床研究カンファ、デスカンファ、EBM勉強会、など。また毎年多数の外部講師を招聘し院内、院外を巻き込んだ勉強会を開催。 【メッセージ】 初期研修医のうちに様々な内科疾患を経験したい方、内視鏡や超音波の手技を習得したい方、総合内科・総合診療科を目指している方、ぜひ当院で初期研修をやってみませんか。
救急科	指導医数:4人　主に救急外来対応と救急科病棟患者の管理を担当します。 （2025年度実績） 救急車総受入数:5,076件/年 救急科救急車受入数:1,934件/年 平均 在院患者数:8.5人／日（3090人／年） 平均 新入院患者数:1.1人／日（409人／年）
外科	指導医数:3人 一般消化器外科から始まり、末梢血管外科、小児外科に関しても学んでもらいます。 症例数は1日に5人程度の患者を担当するように割り振ります。手技としては、一般的な外科疾患の診断から始まり、各種疾患の治療方法の教育を実施します。さらに、上達度に従い専門的処置を教育します。手術手技に関しては、基本的な手技を中心に積極的に教育を実施する方針です。
小児科	指導医数: 2人　主に外来診療に携わっていただきます。症例数は、4週間で15～40例の診療に携わっていただく予定です。採血や各種培養などの手技も経験できます。
産婦人科	2023年3月31日をもって医師が退職となったため、受け入れを行っていません。
精神科	指導医数:1人　主に外来対応と病棟管理です。 （2025年度実績） 外来患者数:6.5人／日（1584人／243日） 平均 在院患者数:0.4人／日（159人／365日）
一般外来	総合内科指導医の下で対応可能です。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科

地域診療(在宅診療)
当院と提携している近隣の診療所で、在宅診療等の研修は可能です。実際に当院の後期研修医も、同じ診療所で研修を行っています。

○研修アピール

当院では、将来どのような医療機関に赴任してもgeneralに対応できる医師の育成を目指しています。その一貫として多種多様な勉強会や各科合同のカンファレンスを多く取り入れ、幅広い知識・技術を身につけていただくよう教育しています。また年間5000件以上の救急車を受け入れており、指導医のもと救急対応の研修も十分できます。

○研修医からのメッセージ　　栃木医療センター 初期研修医 早川 七海

初期研修では、難病や希少疾患も診たいが、風邪を風邪と診断できたりcommon diseaseをしっかりと診察できるようになりたいと考えている人にとっては栃木医療センターでの研修は非常に恵まれていると思います。
内科では入院時に診察した患者さんを退院まで担当医として上級医の先生と共に診ていくことができ、希望すれば訪問診療で退院後の生活などより密に学ぶことができます。また診る疾患は分野を問わないためより広範囲の疾患を経験することができます。EBMを日常診療へ当てはめるための勉強会や救急勉強会、フィジカルクラブ(身体診察勉強会)、CQカンファレンスといった学術面も学ぶことができます。
外科ではほぼ毎日手術に入ることができ、患者さんの体内での変化を間近で学ぶことができます。外科は1チームなので、自分にできること・できないこと・その中で行えることを体感しながら学ぶことができます。状況によっては縫合もできるなど積極的に行動すればするほど様々なことをさせていただけます。
救急科では初期対応を学び実践することに加え、その後の専門的治療(整形外科手術や脳外科の穿頭術)など診療科の枠組みを超えて学ぶことが出来ます。診断した方のその後の治療を診に行けるのは非常に貴重だと思います。
小児科では外来を通じて診察だけでなく、自ら保護者に説明も行うため、診察技術以外にも医師として精神的にも成長できると思います。
良いと感じるところは、枚挙に暇がありません。大学とは真逆と言っても過言ではない環境で1年間、大学で1年間研修できる機会は本当に恵まれていると思います。少しでも研修の候補として参考になれたら幸いです。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者：統括診療部長　上原　慶太

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：事務部 管理課　岡　弘恵
住所：栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37
TEL：028-622-5241
E-mail：oka.hiroe.qq@mail.hosp.go.jp

2027年度　独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター （病床数 350床）【２年次】

受入人数	【2年次】1名

常勤・非常勤	研修手当				時間外	休日	勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与					有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
非常勤		471,000円		有	有	有	32時間／週		10日	3日（リフレッシュ休暇）	12/29-翌1/3	3～4回	有	第二共済組合（短期組合員）、厚生年金、雇用保険、労災保険

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修（在宅を含む）	当院と提携している近隣の診療所で、在宅診療等の研修は可能です。実際に当院の後期研修医も、同じ診療所で研修を行っています。（栃木保健医療生活協同組合宇都宮協立診療所）
一般外来	総合内科指導医の下で対応可能です。
外科	指導医数:3人 一般消化器外科から始まり、末梢血管外科、小児外科に関しても学んでもらいます。 症例数は1日に5人程度の患者を担当するように割り振ります。手技としては、一般的な外科疾患の診断から始まり、各種疾患の治療方法の教育を実施します。さらに、上達度に従い専門的処置を教育します。手術手技に関しては、基本的な手技を中心に積極的に教育を実施する方針です。
小児科	指導医数:2人 主に外来診療に携わっていただきます。症例数は、4週間で15～40例の診療に携わっていただく予定です。採血や各種培養などの手技も経験できます。
産婦人科	2023年3月31日をもって医師が退職となったため、受け入れを行っていません。
精神科	指導医数:1人　主に外来対応と病棟管理です。 （2025年度実績） 外来患者数:6.5人／日（1584人／243日） 平均 在院患者数:0.4人／日（159人／365日）
麻酔科	指導医数:1人　安全な麻酔を第一目標に年間2,000件以上の全身麻酔下での手術中管理を経験できます。

○ 研修のアピール

当院では、将来どのような医療機関に赴任してもgeneralに対応できる医師の育成を目指しています。その一貫として多種多様な勉強会や各科合同のカンファレンスを多く取り入れ、幅広い知識・技術を身につけていただくよう教育しています。また年間5000件以上の救急車を受け入れており、指導医のもと救急対応の研修も十分できます。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

内科				
外科				
小児科				
麻酔科				
救急科				
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

研修実施責任者：統括診療部長　上原　慶太

※問い合わせ先

担当部署・担当者名：事務部 管理課　岡　弘恵

住所：栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37

TEL：028-622-5241

E-mail：oka.hiroe.qq@mail.hosp.go.jp